



## Press Release

### パフォーマンスに特化したランボルギーニ・ウラカン・ペルフォルマンテ誕生

- アクティブ・エアロダイナミクス「エアロダイナミカ・ランボルギーニ・アッティーヴァ」(ALA)により、公道とサーキットで究極のパフォーマンスを発揮
- ニュルブルクリンク、ノルトシュライフェで 6:52:01 のタイムを記録
- フォージド・カーボンファイバー技術により、  
40kg もの重量削減および革新的な技術ソリューションを実現
- 5.2 リッターV10 自然吸気エンジンは最大出力 640HP、トルクも向上
- 0-100 km/h 加速は 2.9 秒、トップスピードは 325 km/h 超
- 「ウラカン・ペルフォルマンテ」の名に恥じない最高の走りを実現し、  
既に驚異的な新記録も達成

【サンタアガタ・ボロネーゼ/フランクフルト、2017 年 3 月 6 日】

アウトモビリ・ランボルギーニは、今年のジュネーブ・モーターショーにて最新モデル「ランボルギーニ・ウラカン・ペルフォルマンテ」"Lamborghini Huracán Performante" (以下、ウラカン・ペルフォルマンテ)を発表いたします。同モデルは、最新の軽量化技術であるエアロ・ベクタリング機能付アクティブ・エアロダイナミクス、設定を改良したシャーシ、四輪駆動システムおよび進化したパワートレインのすべてを備えています。サーキットでのスポーティーな走りや公道での魅力的かつダイナミックな走りをバランスよく兼ね備えたスーパースポーツカーであり、ランボルギーニの技術革新における成果と言えるでしょう。2016 年 10 月 5 日、ドイツ、ニュルブルクリンクのノルトシュライフェにおいて量産車としては史上最速のラップタイムとなる 6:52:01 を記録しました。

アウトモビリ・ランボルギーニの社長兼 CEO ステファノ・ドメニカリは「本モデルは、完璧なパフォーマンスを発揮する車を目指してきたランボルギーニによる技術開発の結晶です。ランボルギーニの DNA や革新、そして業界を牽引するスーパースポーツカーづくりに必要な全てのアプローチが詰まっています。サーキットと公道の両方におけるパフォーマンスの素晴らしさは、これまでランボルギーニが開発してきた V10 生産車の中でも最高峰と言えるでしょう。まさに「ランボルギーニ・ウラカン・ペルフォルマンテ」の名のとおりです。」とコメントしています。

### 軽量化学

ハイブリッドフレームをベースにしたボディには、アルミニウムとランボルギーニの革新素材「フォージドコンポジット」を広範囲に使用しています。レジン之母材に炭素を埋め込んだフォージドコンポジットにより、最適な剛性はそのままに、従来のカーボンファイバー・コンポジット素材では不可能とされた軽量構造の維持と複雑な幾何学形状の両方を実現することが可能となりました。また、フロントおよびリアスポイラー、エンジン・ボンネット、リアバンパー、エアロダイナミック・ディフューザーをはじめとする構造用部品にもフォージドコンポジットを使用し、車体の総重量を 40kg も削減することに成功しています。

Automobili Lamborghini S.p.A.

Communications

Gerald Kahlke

Phone number +39 051 6817711

[gerald.kahlke@lamborghini.com](mailto:gerald.kahlke@lamborghini.com)

Press Office - Italy and Southern Europe

Clara Magnanini

Phone number +39 051 6817711

[clara.magnanini@lamborghini.com](mailto:clara.magnanini@lamborghini.com)

Press Office - Corporate and Motorsport

Chiara Sandoni

Phone number +39 051 6817711

[chiara.sandoni@lamborghini.com](mailto:chiara.sandoni@lamborghini.com)

Press Office - Events and

Collezione Automobili Lamborghini

Rita Passerini

Phone number +39 051 6817711

[rita.passerini@lamborghini.com](mailto:rita.passerini@lamborghini.com)

Press Office - UK and Middle East

Juliet Jarvis

Phone number +44 (0) 7733 224774

[juliet@jic.uk.com](mailto:juliet@jic.uk.com)

Press Office - North and South America

Jiannina Castro

Phone number +1 (703) 364-7926

[jiannina.castro@lamborghini.com](mailto:jiannina.castro@lamborghini.com)

Press Office - SEA, Oceania & India

Silvia Saliti

Phone number +65 9651 8955

[silvia.saliti@lamborghini.com](mailto:silvia.saliti@lamborghini.com)

Press Office - China

Nancy Rong 荣雪霏

Phone number: +86 10 6531 4614

[xuefei.rong@lamborghini.com](mailto:xuefei.rong@lamborghini.com)

Press Office Japan and South Korea

Kumiko Arisawa

Phone number: +81 3 5475 6626

[kumiko.arisawa@lamborghini.com](mailto:kumiko.arisawa@lamborghini.com)



## Press Release

### アクティブ・エアロダイナミクス - エアロダイナミクス・ランボルギーニ・アッティヴァ(ALA)

イタリア語で「翼」を意味するエアロダイナミクス・ランボルギーニ・アッティヴァ(以下、ALA)を採用しています。ランボルギーニがウラカン・ペルフォルマンテ専用開発したアクティブ・エアロダイナミクス・システム(特許取得)は、高ダウンフォースや低抗力で走行の際、能動的に空力負荷を変化させます。

同システムは、デザイン、重量、パフォーマンスなどすべての面において車両と完全に一体化しています。フロント用 ALA システムの電動モーターを擁するのは、上部表面にアクティブフラップが付き、カーボンファイバーフレームを使用したフロントスポイラー。リアボンネットは、エアダクトの周りからリアウイング、そしてウイングパイロンを囲むように設計しました。

また、ランボルギーニ・ピアッタフォルマ・イネルツィアーレ(以下、LPI)が、車両に搭載されたすべての電子装置を「リアルタイム」で管理。ALA システムと連動しており、0.5 秒足らずで ALA システムのフラップを起動し、あらゆる走行条件において最高の空力設定を整えます。

ALA をオフにすると、フロントスポイラー内のアクティブフラップが閉じ、高速でのコーナリングおよびフルブレーキング時に必要な高ダウンフォースを発生させます。ALA をオンにすると、フロントの電動モーターによってフロントのフラップが開いてフロントスポイラーの空圧を削減するとともに、インナーチャンネルを通じて特殊形状の車体底部へと空気の流れを導きます。この結果、劇的に抗力が減少し、加速およびトップスピードの最大化に最適な条件が整います。

リアボンネットの下には、エアダクト 4 本を設置。フード下の換気および排気冷却を行うために中央ダクト 2 本は常に開いた状態で、外部ダクト 2 本はリアウイングのインナーチャンネルに連結しています。リアウイング・チャンネル内の空流は、電子作動式フラップ 2 つで制御。電子作動式システム全体の重量は、従来の油圧式システムに比べて 80%も軽量になっています。

ALA をオフにするとリアフラップが閉じ、リアウイングが従来の固定式ウイングと同様の働きをします。また、最大垂直ダウンフォース(ウラカン・クーペ比 750%増)を発生することにより、高速コーナリング時およびフルブレーキ時の安定性を高めます。

一方、高スロットル時には LPI が ALA をオンにし、開いたフラップからリアウイングのインナーチャンネル内へと空気が流れ込み、ウイング下を通るように導きます。この結果、抗力を削減するとともに、加速力およびトップスピード到達力が向上しました。

さらに、リアウイングのインナーチャンネルは左右に分かれ、高速でのコーナリングに最適な「エアロ・ベクタリング」を行います。LPI は、曲がる方向に応じて ALA の設定をスポイラーの左右いずれかに切り替え、インナーホイールのダウンフォースおよびトラクションを増加させることによってローリング時の荷重伝達に対抗します。また、同様にシャーシの推進力を最適化して操舵角を縮小させ、車両全体の動的安定性を向上させます。



## Press Release

### デザイン

ランボルギーニの DNA を受け継ぎ、車の開発目的および機能をデザインで明確に表現しています。

ボディのデザインは、ランボルギーニ・スーパートロフェオ・レース用車両のピュアなラインおよびパフォーマンスに加え、高性能のネイキッドバイクにインスピレーションを得ています。特にリアのデザインは、剥き出しのフレームや「ストリートファイター」仕様が車両の機能およびパフォーマンスを表現しています。

さらに、デザイン面においても、本モデルの重要な機能を担うアクティブ・エアロダイナミクスや軽量構造の存在を強調しています。すべての ALA のコンポーネントは、シングルピースに成形・鋳造可能なフォージドコンポジットを使用した艶出し加工を施し、剥き出しのデザインに仕上げられています。また、マットなボディカラーと対照的なマットおよびグロッシェ仕上げのブラックカーボンファイバーを合わせました。

なお、ジュネーブで披露予定のウラカン・ペルフォルマンテのボディカラーは、新色のマットオレンジ(アランチョ・アンタエウス)です。

洗練された印象に生まれ変わったフロントは、レースカーにも似たシャープなデザインになり、エアインテークやスプリッターは、獲物に飛びかかろうとするヘビの牙をイメージさせます。フォージドコンポジットを使用したアクティブ・エアロダイナミクス・フロントスポイラーは、大きな存在感を放つ一方、グリルを廃したフロントバンパーは、軽量性、高性能、そしてスポーティーさを強調しています。

さらに、フォージドコンポジット製のエンジン・ボンネットが軽量構造を強調しています。エンジンに冷却用空気を送る目的でエアインテークを組み込み、プレキシガラスのカバーでエンジンを覆いました。マニホールドカバーは、他のスペシャル・エディション用エンジンと同じブロンズ仕上げ。ランボルギーニのヘリテージをイメージさせるとともに、エンジンの進化と出力の増加を表しています。

レースに着想を得た華麗なリアには、カーボンファイバーを多用し、フォージドコンポジット製のコンポーネントでアクティブ・エアロダイナミクスの重要性を強調しました。エアダクトを外付けにしたボディと一体化させたリアウイングは、ALA 機能の中心的役割りを担うパーツで、フォージドコンポジット技術の使用により、単体としての成型が可能となりました。

ペルフォルマンテのスポーティーな印象を引き立てる要素のひとつが、エクストリームバイクのように高い位置に設置された排気パイプ。高位置に設置することで、エンジンとの繋がりがより直接的なものになりました。マットブラックのリアディフューザーは、ルックス・機能ともにランボルギーニ・スーパートロフェオのレースカーをイメージ。ディフューザー底部を走る菱形のラインにもフォージドコンポジットを使用し、ハイテクかつスポーティー、圧倒的な存在感を放つ幅の広いリアを強調しています。



## Press Release

横から見ると、吸気口をマットブラックで仕上げたロッカーカバーの流れるようなライン、ドア部分にあしらわれたトリコローレ（ペルフォルマンテ生誕の地サンタアガタ・ボロネーゼを象徴）、そして光沢のあるブラックのウイングミラーをはじめとする特徴が目を惹きます。

なお、ペルフォルマンテ専用の軽量ナルヴィ 20 インチ・フォージド・ホイールのカラーは、ブロンズになっています。

### パワートレインおよびパフォーマンス

進化したウラカンの自然吸気エンジンは、これまでランボルギーニが開発した中で最もパワフルな V10 エンジンです。8,000rpm で 640 hp (470 kW)、6,500rpm でトルク 600 Nm を発生。ディアブロ 30 周年記念モデルのエンジンをはじめとする過去のスペシャル・エディション用エンジンの伝統を受け継いだブロンズの新マニホールドが特徴です。

新パワートレインには、ランボルギーニのモータースポーツ・プログラム用に開発された技術を採用しています。吸気口および排気口におけるエンジンの流体力学と同様、V10 エンジンのエアインテークシステムも最適化。ロス削減によりレスポンスの向上に成功しました。一方、新チタン製バルブが、より高い位置へのバルブリフトを可能にし、エンジンの透過性およびパフォーマンスを高めます。

また、エグゾーストシステムを再設計し、重量および後方にかかる圧力を削減。排気パイプをより高く、中央寄りに設置し、ハイパフォーマンス時のエンジン音にモーターレースをイメージさせる攻撃性を加えました。強力なエンジンは、最適化トルク曲線を発生し、1,000rpm で 70% を超えるトルクを実現。向上したパフォーマンスに合わせて、ランボルギーニの 7 速デュアルクラッチトランスミッションにも最適化を施しました。

乾燥重量は、わずか 1,382 kg、パワーウェイトレシオは 2.16kg。重量配分は、フロント 43/リア 57。0-100km/h 加速は 2.9 秒、0-200km/h は 8.9 秒。0-100km/h ブレーキ制動距離は、31メートルです。

### シャーシおよび設定

ペルフォルマンテが掲げた開発目標である「パフォーマンス志向のレース仕様車」を反映し、サスペンション・システムにも改良を施しました。スプリングおよびバーを改良した結果、ウラカン・クーペに比べて垂直剛性が 10%、ロール剛性は 15% もアップ。アームブッシングの半径方向剛性と軸方向剛性が 50% 増加したことにより、車体の横方向制御も大幅に強化されました。

フロントとリアに設置したダブルウィッシュボーン・システムには、パッシブ型ダンパー（オプションで磁気粘性サスペンションが付属）を装備。パッシブおよびアクティブサスペンションシステム共に、特にサーキット走行時のボディおよびホイール制御の向上を意図した設計となっています。



## Press Release

また、電動パワーステアリングを標準装備し、ギア比可変のランボルギーニ・ダイナミック・ステアリング(LDS)をオプションで付けることも可能です。なお、ドライビングモード 3 種(ストラダ、スポルト、コルサ)のいずれかを選択してもドライバーフィードバックを最大化し、高反応なステアリングが得られるよう、ウラカン・ペルフォルマンテの電動パワーステアリングおよび LDS には大幅に再調整しています。サーキット走行を想定したハイパフォーマンスのコルサ・モードでは、ステアリングレシオの変動を大幅に抑え、レースのような感覚をお楽しみいただけます。

いかなる状況においても最大のトラクションが得られるよう調整を施した四輪駆動システムは、ALA システムと連動しており、新 P ゼロコルサ・タイヤの良さを存分に活かした設定となっています。一方 ESC も調整され、干渉を軽減することで、よりスムーズな介入を行えます。

ウラカン・ペルフォルマンテでは、全システムの設定を自在にカスタマイズできるドライビングモードを採用しています。今回、このドライビングモードの制御を担うランボルギーニ ANIMA システムを改良し、ストラダ、スポルト、コルサの各種モードに応じたドライビングの向上を図りました。ストラダでは、トラクションと安定性を最優先。スポルトは、後輪駆動寄りで、オーバーステア気味の挙動とドリフティングの手軽さが特徴です。コルサでは、サーキットで最高の走りを実現するようにトップパフォーマンスとハンドリングを重視しました。

### ホイールおよびブレーキ

ウラカン・ペルフォルマンテには、完全電子制御でリアにオートロック式リア・デファレンシャルを装備したランボルギーニ開発の四輪駆動「ハルデックス」の第 5 世代システムを搭載しています。

ボディを支えるのは、専用設計のブロンズ 20 インチ・ナルヴィ・フォージド・リム。ご希望に応じて、セントラルロック付 20 インチ・ロジェ・フォージド・リムのご用意も可能です。

ウラカン・ペルフォルマンテ専用開発されたピレリ P ゼロコルサ・タイヤは、サーキットで ALA のオン/オフにかかわらず常に路面グリップを最適化できるよう設計されており、一般公道でも最適なパフォーマンスを発揮します。なお、お好みで公道走行認証を受けた高性能サーキット用タイヤ「ピレリ・トロフェオ R」もお選びいただけます。

ウラカン・ペルフォルマンテの並外れた加速力とトップスピードに対応するのが、通気性に優れたクロスドリル加工カーボンセラミック・ディスクを採用し、スムーズで連続的なブレーキを可能にした高反応のブレーキングシステム。真空ブレーキ・サーボ・ユニット付きの油圧デュアルサーキット・システムは、フロントに 6 ピストンのブレーキキャリパー、リアに 4 ピストンのブレーキキャリパーを装備しています。また、P ゼロコルサ・タイヤの採用によって、ABS のパフォーマンスおよびドライバーへのペダルフィードバックも劇的に向上しました。



## Press Release

### インテリア

インテリアにも、ウラカン・ペルフォルマンテが重視する軽量性および空力性能の高さが表れています。エアベント、パドル、ドアハンドルおよびセンターコンソールは、すべてフォージドコンポジット製。これまでランボルギーニが培ってきたレースにおけるヘリテージを参照し、全面（オプションで「Y」のグラフィックをレーザー彫刻できるスポーツシートを含む）に軽量でダークカラーのアルカンターラ生地を使用しています。なお、同素材のトリムを使用したコンフォートシートも、お選びいただけます。

車内ダッシュボードのディスプレイには、ALA 専用画像を駆使してエアロ・ベクタリングを始めとする ALA の作動状況を表示。車両のパフォーマンスのみならず、車内のディスプレイを介してアクティブ・エアロダイナミクスを体感していただけます。

また、車内に搭載された新デジタル・コックピット・ディスプレイは、3 種のドライビングモード（ストラダ、スポルト、コルサ）に応じて設定の変更が可能。また、ダウンフォースおよび抗力の詳細なデータを表示する ALA 専用ディスプレイも付属します。今回一新されたコックピットのレイアウトは、Apple CarPlay はもちろん、運転時パフォーマンスの録画、再生、分析が可能なランボルギーニ・テレメトリー・システムなど、iPhone アプリにも対応しています。

ランボルギーニ・アド・ペルソナム・プログラムでは、お客様のお好みに応じて自由にインテリアをカスタマイズいただけます。

新モデルのランボルギーニ・ウラカン・ペルフォルマンテは、2017 年夏以降納車開始予定です。



## Press Release

### テクニカル・データ - ランボルギーニ・ウラカン・ペルフォルマンテ シャーシおよびボディ

シャーシ	アルミニウム+カーボンファイバー製ハイブリッドシャーシ
ボディーシェル	アルミニウム+コンポジット製アウタースキン
サスペンション	アルミニウム製ダブルウィッシュボーン・サスペンション
スプリングおよび ダンパー	スチールスプリングおよび油圧ダンパー。オプションとして磁気粘性ダンパー
安定電子制御 (ESC)	ESC/ABS 特性は ANIMA により調節、ESC は解除可能
ステアリング	電動パワーステアリング (EPS) ランボルギーニ・ダイナミック・ステアリング (LDS) (可変レシオ、オプション装備)
ブレーキ	バキューム・ブレーキ・サーボ・ユニット付きデュアル油圧回路 (フロントにアルミニウム製 6 ピストン・キャリパー、リアにアルミニウム製 4 ピストン・キャリパー)
ブレーキ・ディスク	カーボンセラミック製クロスドリル・ベンチレーテッド・ディスク Ø 380 x 38 mm (フロント)、Ø 356 x 32 mm (リア)
タイヤ (標準)	ピレリ P ゼロコルサ 245/30 R20 (フロント) - 305/30 R20 (リア)
ホイール (標準)	8.5J x 20" (フロント) - 11J x 20" (リア)
ミラー	電動調節式サイドミラー
エアバッグ	フルサイズ・デュアルステージ・フロントエアバッグ フルサイズ・サイドエアバッグ ニーエアバッグ (一定の市場で販売)
<b>エンジン</b>	
タイプ	90°V 型 10 気筒、IDS+MPI デュアルインジェクション
排気量	5204 cm <sup>3</sup>
ボア / ストローク	Ø 84,5 mm x 92,8 mm
バルブ制御	連続可変制御式の吸気・排気用バルブカムシャフト
コンプレッションレシオ	12.7 : 1
最大出力	470 kW / 640 hp / 8,000 rpm
最大トルク	600 Nm / 6,500 rpm
排出ガス規制	ユーロ 6 - LEV (低排出ガス車) 3
排気処理	ラムダセンサー付き二元触媒コンバーター



## Press Release

冷却システム 水およびオイルによる冷却システム

エンジンマネジメント ボツシュ製 MED 17  
マスター・スレーブ方式

潤滑システム ドライサンプ

### 駆動系

電子制御全輪駆動

タイプ ハルデックス第 5 世代を搭載  
自動式機械式差動固定装置(後輪)

トランスミッション LDF 7 速デュアルクラッチトランスミッション  
(ANIMA による可変シフト特性)

クラッチ ダブルプレートクラッチ $\varnothing$  187 mm (7.36 インチ)

### パフォーマンス

最高速度 > 325 km/h

0-100 km/h 加速 2.9 秒

0-200 km/h 加速 8.9 秒

ブレーキ(100-0 km/h) 31 メートル

### 寸法および重量

ホイールベース 2,620 mm

全長 4,506 mm

全幅 1,924 mm

全幅(ミラーを除く) 2,236 mm

全高 1,165 mm

トレッド(フロント) 1,668 mm

トレッド(リア) 1,620 mm

最小回転径 11.5 m

乾燥重量 1,382 kg

パワーウェイトレシオ 2.16 kg/hp

重量配分 43 % (フロント) - 57 % (リア)



## Press Release

### 容量

燃料タンク容量	83 リットル
トランク	100 リットル

### 燃費\*\*

市街地	19.6 l/100 km
都市外部	10.3 l/100 km
複合	13.7 l/100 km
CO <sub>2</sub> 排出量	314 g/km

\*\* EU 指令 EC 715/2007 準拠

### ■ リリースに関するお問い合わせ先

広報窓口： ランボルギーニ・ジャパン PR事務局(共同ピーアール株式会社内)  
担当： 吉田、中里、横山  
TEL： 03-3571-5238  
FAX： 03-3571-5380  
Email： [lamborghini-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:lamborghini-pr@kyodo-pr.co.jp)

### ■ ご掲載いただく場合のお客様の問い合わせ先

ランボルギーニ カスタマーセンター TEL: 0120-988-889  
アウトモビリ・ランボルギーニ ホームページ [www.lamborghini.com](http://www.lamborghini.com)